

事務局 技術部



1 貧困をなくそう



2 飢餓をゼロに



3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



5 ジェンダー平等を実現しよう



6 安全な水とトイレを世界中に



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



8 働きがいも経済成長も



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



10 人や国の不平等をなくそう



11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任つかう責任



13 気候変動に具体的な対策を



14 海の豊かさを守ろう



15 陸の豊かさも守ろう



16 平和と公正をすべての人に



17 パートナースhipで目標を達成しよう



運営

8 働きがいも
経済成長も9 産業と技術革新の
基盤をつくろう

【活動概要】

「少子高齢化による生産年齢人口の減少」や「育児や介護との両立・働き方の多様化」を考慮し、「ムリ・ムラ・ムダ」の無い生産性の高い業務プロセスを実現する必要があります。

当該プロセスの実現に向けて、契約課の業務のひとつであり、多くの時間を要す「手作業による伝票起票業務」は、定型的業務であることから、自動化に期待ができます。

当該業務を、RPAソフトである「Power Automate for desktop」で記録することにより、自動化しております。

今後は、自動操作の精度向上、自動化する業務の拡大を予定しており、いずれ定型業務の全てを自動化することを目標としております。

【自動化対応中】

- ・ 消耗品費について財務会計システム上で支出契約決議書起票、未払伝票起票(⇒実施例・右)
- ・ 消耗品費について科研システム上で科研決議書起票
- ・ 運送料、総合複写 未払伝票起票

RPA導入前

書類整理

システム内
データ入力システム内
伝票起票

※

※



※ 10画面以上を遷移し入力、起票。全て担当者の手作業によるもの。

RPA導入後

書類整理

Excel
データ入力

※

RPAによる自動操作

システム内
データ入力システム内
伝票起票

※ RPAにシステム入力させるためのデータを用意。
以降は担当者の手作業をRPAで自動化。

【担当】財務部契約課 消耗品係

サステナブルキャンパス※ 形成の推進

(※ 教育・研究・社会連携・キャンパス整備をとおして、持続可能な社会の構築に貢献する大学)

事務局

大学運営

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに12 つくる責任
つかう責任13 気候変動に
具体的な対策を

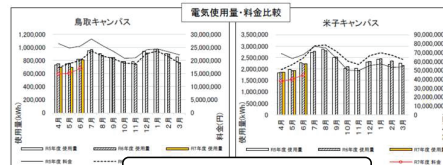
【活動概要】

「鳥取大学環境憲章」及び「鳥取大学カーボンニュートラル宣言」に基づき、サステナブルキャンパスの形成を推進します。

1.省エネルギー及びカーボンニュートラルに向けた取組

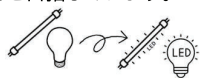
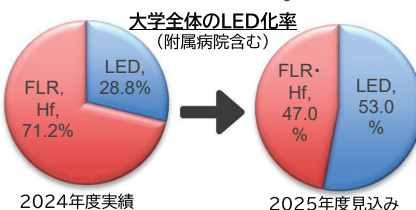
ソフト面では、学内エコアクションパトロールによる省エネ意識の向上や、光熱水使用量をイントラネットで公表することで情報共有と意識啓発を行っています。

ハード面では、空調・照明などの高効率機器への更新や建物の高断熱化を進め、省エネとカーボンニュートラルに貢献しています。



省エネに関する意識啓発

エネルギー効率向上と環境負荷低減のため、照明のLED化を推進しており、2030年度までに導入率100%を目指しています。

大学全体のLED化率
(附属病院含む)

省エネ

①アクティブ技術
(エネルギーを効率的に利用するための技術)

- ・高効率空調
- ・高効率換気
- ・LED照明 など

②パッシブ技術
(建物内の環境を適切に維持するために必要なエネルギー量(エネルギーの需要)を減らすための技術)

- ・自然換気、昼光利用
- ・高断熱化
- ・日射遮蔽など



カーボンニュートラルに資する改修工事

2.環境負荷低減と管理業務の効率化

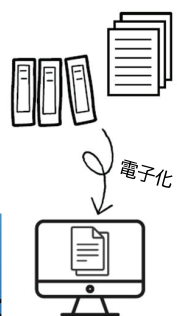
環境負荷低減と業務効率化を目的に、電子マニフェストと化学物質管理システムを導入し電子化を進めています。さらに、毎年発行していた環境報告書も冊子から電子化へ移行しました。これにより、紙資源の削減、記録・集計業務の効率化、コンプライアンス強化を実現しています。



環境報告書2025



化学物質管理システム



【担当】施設環境部

社会貢献



【活動概要】

「出前おもしろ実験室」は、子どもたちに理科・科学への興味・関心を深めてもらうことを目的として行う出張形式の体験型科学実験教室です。

技術部では、平成18年に「鳥取大学発『出前おもしろ実験室』プロジェクト」を立ち上げ、これまでに延べ8000人以上の子ども達に科学のおもしろさ・楽しさを伝えています。小中学校だけでなく、特別支援学校や聾学校、保護者からの実験室開催依頼や、小学校教員からの授業支援・教員向け研修会の依頼が多く寄せられており、広く科学教育に貢献し、地域のイベントや公民館事業を通して「理科好き」の子どもが育つ環境づくりに寄与しています。技術職員が持つ化学、電気、機械等の様々な分野の専門知識を活用した「出前おもしろ実験室」を提供することで、子どもたちに科学や工学、ひいては鳥取大学の魅力を発信しています。更に、アート要素のある科学工作やロボットのプログラミング体験などを試み、STEAM教育を目指しています。

また、プロジェクトに興味を持った本学学生とともに活動しており、子どもたちへの実験指導や実験教材の開発、研究会への参加などを通して本学学生の科学力・人間力向上につなげています。

【担当】 技術部



小学校での実験室の様子



中学校での実験室の様子



小学校教員向け研修会の様子